

サミット 2022年3月期決算 ～減収減益、2022年度は6月以降見極め～

【業績】

(百万円、%)

	2021年3月期			2022年3月期			2023年3月期(計画)		
	金額	売上比	対前期増減率	金額	売上比	対前期増減率	金額	売上比	対前期増減率
営業収益	326,494	—	6.8	323,699	—	△0.9	337,000	—	4.1
売上高	313,649	100.0	6.8	310,853	100.0	△0.9	323,000	100.0	3.9
営業利益	12,622	4.0	49.0	9,143	2.9	△27.6	8,400	2.6	△8.1
経常利益	13,893	4.4	50.8	9,477	3.0	△31.8	8,500	2.6	△10.3
当期純利益	9,570	83.4	83.4	6,059	1.9	△36.7	6,100	1.9	0.7

※サミットは2021年4月1日付で完全子会社である㈱サミット・コルモと合併。2021年3月期以前の各項は、合併前の連結決算の金額及び数値となる。

【既存店売上高、客数、客単価 対前期増減率】

(%)

	2021年3月期	2022年3月期
売上高	6.3	△0.6
客数	△4.2	2.7
客単価	11.0	△3.2

【部門売上構成比、対前期増減率】

(%)

2022年3月期	構成比	増減率
青果	14.5	△2.1
鮮魚	8.0	△2.1
精肉	11.8	△5.0
生鮮食品計	34.3	△3.1
総菜	9.4	7.5
ベーカリー	1.9	13.2
総菜及びベーカリー	11.3	8.4
加工食品	23.3	△1.3
菓子	4.4	1.2
デイリー	19.4	△0.2
その他食品計	47.1	△0.6
家庭用品	4.8	△4.0
衣料品	2.4	△5.2
その他	0.1	△30.8
家庭用品および衣料品他計	7.3	△4.7
合計	100.0	△0.9

サミットは2022

年3月期決算を発表。サミット業績数値は営業収益3236億9900万円(前期増減率0.9%減)、売上高3108億5300万円(0.9%減)、営業利益91億4300万円(27.6%減)、経常利益94億7700万円(31.8%

減)、当期純利益60億5900万円(36.7%減)となり減収減益。ただし、前期(2021年3月期)を除き、売上高及び各利益で過去最高の数値となった。

■部門別売上高

総菜及びベーカリーの売上高伸長率が大きい理由は、2021年3月期からバラ販売を中止したことで苦戦したものの、需要の変化に対応した品揃えの…

※続きは正規版にお申し込みください。



サミット株式会社
代表取締役社長
服部 哲也氏